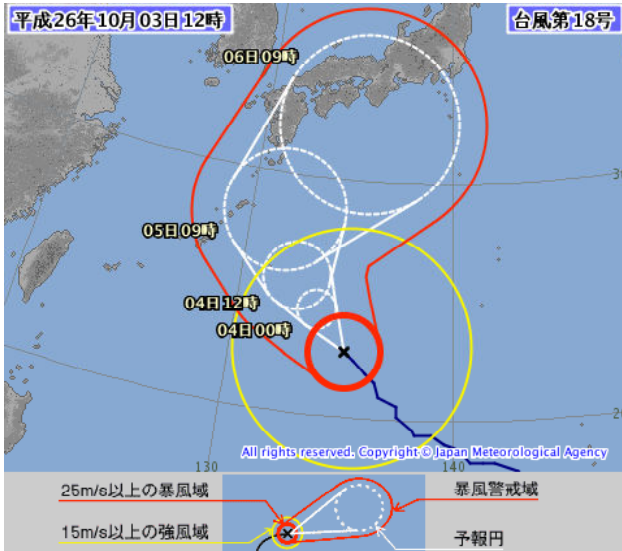


# 台風18号に対する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課



大型で非常に強い台風18号が本県に接近する可能性がありますので、農作物等の台風対策には万全を期してください。

今後、気象庁が発表する台風情報に留意し、農作物等の管理には十分注意しましょう。

農作業及び農地・農業用施設の見回りは気象情報を十分に確認し、水路等が増水している場合や土砂災害等のおそれがある場合は、危険な場所には近づかないでください。

(台風経路図は気象庁ホームページより引用)

## 1 水 稻

### (1) 事前対策

- ア 籾の黄化率（80～90％）を目安として、収穫可能な水田では台風接近前に刈り取りましょう。
- イ 増水に備え、用排水路を点検しゴミ等を取り除きましょう。
- ウ 排水側の水口を開けて、ほ場内に滞水しないようにしましょう。

### (2) 事後対策

- ア 浸水・冠水した場合は、早急に排水します。
- イ 倒伏した場合は速やかに株起こしを行い、穂発芽しないようにします。なお、株元が損傷している場合は、隣接する株の上に穂をのせる程度としましょう。
- ウ 倒伏ほ場では刈り分けを行うなど、泥の混入が無いように注意します。
- エ 刈り遅れによる品質低下を防ぐため、適期刈り取りに努めましょう。

## 2 大 豆

### (1) 事前対策

- ア 速やかにほ場排水ができるよう明きょ、暗きょ等を点検し、ゴミ等を取り除きます。
- イ 滞水しやすいほ場では、必要に応じて畦畔の切削等を実施し排水に備えましょう。

### (2) 事後対策

表面水や明きょの滞水は、早急にほ場外に排水します。

## 3 そ ば

### (1) 事前対策

滞水しやすいほ場では、必要に応じて畦畔の切削等を実施し排水に備えましょう。

### (2) 事後対策

- ア 地表面に滞水がある場合は、溝切りなどの排水対策を行います。
- イ 倒伏したところをコンバインで刈り取る場合は、刈り幅を狭め、刈り取り部を下げ

て、追い刈り又は横刈りで刈り取りましょう。  
ウ 収穫作業では、泥の混入が無いように注意します。

#### 4 野菜・花き

##### (1) 事前対策

###### ア 共通

- (ア) ほ場周囲の排水溝を点検し、速やかに排水できるようにしておきましょう。水害の恐れがあるところでは強制排水のポンプも準備しておきましょう。
- (イ) ほ場周囲に防風ネットを設置している場合は、ワイヤー・針金の緩みやネットの破損を点検し補修しましょう。
- (ウ) パイプハウスの被覆資材及び止め具（マイカ線、ビニペット等）を点検し、ビニールの破損があれば補修しましょう。
- (エ) パイプハウスやネット栽培等で支柱を使用しているものは筋交いを入れ、補強しましょう。
- (オ) 施設では、天窓や扉があおられたり風が吹き込まないように完全に閉めておきましょう。
- (カ) 雨よけのみのパイプハウス等は強風に弱いため、ラセン杭、ハウスバンド等で浮き上がらないようにしっかりと固定しましょう。
- (キ) 収穫可能なものは、できるだけ台風接近前に収穫しましょう。
- (ク) 施工中のハウス等がある場合は被覆を完了しておく、あるいは台風被害の恐れが無くなった後に行うようにしましょう。また、部材は飛ばされない様にいったん家に持ち帰りましょう。

###### イ 野菜

- (ア) 露地の葉菜類や根菜類では、支柱を用いてべたがけ資材（不織布等）を浮き掛けすることにより被害を軽減することができます。その際は、べたがけ資材が風に飛ばされないようしっかりと止めましょう。
- (イ) 露地きゅうりやサヤインゲンは、支柱やネットにしっかりと誘引しておきましょう。アスパラガスやピーマンではフラワーネットと支柱、ナスでは支柱等を点検し倒伏を防止しましょう。

###### ウ 花き

露地栽培では、フラワーネットの張りや支柱を点検し、倒伏や曲りを防止しましょう。

##### (2) 事後対策

###### ア 共通

- (ア) 停滞水は明きよを掘削するなど、速やかな排水に努めましょう。
- (イ) ネギやリンドウなど倒伏したものは、茎が曲がるのを防ぐため、できるだけ早く引き起こすとともに、茎葉に泥土が付着している場合は、動力噴霧機などにより水をかけて洗い流し、適切な薬剤散布を行いましょ。
- (ウ) 台風通過後は、吹き返しの強風に注意しながら施設等の換気を図りましょう。

###### イ 野菜

- (ア) 排水後、ほ場作業が可能になったら直ちに畦間の中耕を行い、土壌の通気性を良くし根の動きを回復しましょう。
- (イ) マルチを行っている畦が冠水した場合、マルチ下の土壌水分が過多となりやすいので、マルチを一時的にはぐなどして畦の乾燥を促しましょう。
- (ウ) 損傷を受けた果実や茎葉は、早急に摘除しましょう。ネット等からはずれたつるや茎葉等は、再度誘引し直しましょう。
- (エ) 冠水や多湿、茎葉の損傷等により病害にかかりやすくなっていますので、直ちに

適切な薬剤散布を行いましょ。また、草勢回復のため、液肥のかん注や葉面散布剤の散布を行いましょ。

(オ) 収穫した野菜は、傷みがないか良く確認しながら調製作業を行いましょ。

#### ウ 花き

(ア) キクやリンドウなど露地の花きは、風雨により損傷を受けると病害が発生しやすいので、速やかに適切な薬剤散布をするとともに、草勢回復のために液肥の葉面散布を行いましょ。

(イ) ほ場が冠水した場合は、速やかに排水を行うとともに、付着した泥を洗い流し、灰色かび病等の予防薬剤散布を行いましょ。また、液肥の葉面散布や酸素供給剤のかん注により、草勢回復を図りましょ。

## 5 果樹

### (1) 事前対策

ア 現在、収穫期に入っている果樹では、強風による落果や傷害が懸念されますので、収穫可能な果実は事前に収穫しましょ。

イ ももせん孔細菌病やなし黒星病に対する秋期防除は、台風により散布タイミングが遅れないよう注意しましょ。特に、ももせん孔細菌病が発生している地域では、台風の風雨の影響で感染が拡大するおそれがありますので、前回散布した秋季防除剤の残効期間を考慮し、次回の秋期防除時期が近づいている場合は、台風前に実施しましょ。

ウ 立木では、主枝などの大枝が裂けるおそれがあるので、支柱で支え、脱落しないよう枝受け部分を結束しましょ。また、側枝は支柱等で固定すると落果を助長することがあるので、支柱等はずし風になびくようにしましょ。

エ りんごのわい性台樹は倒伏しやすいので、支柱への結束状態を確認し、不十分な場合は補強しておきます。また、木支柱の場合は、支柱の根元が腐敗していないかどうか確認しましょ。

オ 果樹棚（なし、ぶどう等）等の施設は、前もって点検し、強風の前にアンカー補強や棚線の締め直し等を行いましょ。また、棚周囲に防風ネットを設置している場合は、風で飛ばされないように補強しましょ。

### (2) 事後対策

ア 滞水している園地では、明きょなどにより速やかな排水に努めましょ。

イ 落果した果実は速やかに収集し、適正に処理しましょ。

ウ 葉や果実に損傷がある場合は、病原菌の侵入を防止するため、被害1～2日後に適切に薬剤散布を実施しましょ。なお、被害後に定期散布日が近い場合は、この散布に置き換えて実施しましょ。

エ 今後収穫期を迎える果樹では、落葉や葉の損傷が大きい場合、その程度に応じて修正摘果を行いましょ。

オ 倒伏した樹はできるだけ早く起こし、土を盛り、支柱等で固定しましょ。また、かん水やマルチにより根の乾燥防止に努め、新根の発生を促しましょ。大枝が裂けた場合は、ボルトやカスガイ等で止めるか、縄などでしばり傷口を接着させましょ。

カ 台風通過後は、フェーン現象により一時的に高温になり、乾燥した風により葉焼け等が発生しやすくなります。このような場合はスピードスプレーヤ等で散水し、樹体温を下げるるとともに湿度を維持し、被害を軽減するようにしましょ。

## 6 畜産・飼料作物

### (1) 事前対策

ア 強風による畜舎、飼料庫、飼料タンク、堆肥舎等の損壊及び風雨の吹き込みを未然

に防止するため、屋根、扉、窓、外壁及び排水溝等の破損や亀裂等の有無を確認し、必ず補修等の応急措置を行いましょ。う。

イ 開放された飼料の保管場所では、乾草や稲わら等をシートで覆うなどして、雨水がかからないようにしてください。

ウ 堆肥舎への風雨の吹き込みにより、堆肥や汚水が流出することが心配されますので、堆肥をシートで覆うなどして、流出を防止しましょ。う。

エ あらかじめ停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機等による搾乳や生乳冷却等の対応ができるよう対策を行いましょ。う。

オ 水はけの悪い草地や飼料畑には明きょを掘削するなど、速やかに排水できるようにしましょ。う。

特に、飼料用トウモロコシでは収穫期のものがありますので、水はけの悪いほ場は必ず明きょ等の排水対策を行ってください。

## (2) 事後対策

ア 畜舎等が浸水した場合は速やかに排水し、疾病発生予防のため洗浄と消毒を行った後、施設内の乾燥に努めましょ。う。

イ 滞水している草地や飼料畑は、明きょなどを点検し速やかに排水しましょ。う。

ウ 豪雨により草地や飼料畑で土壌浸食が発生した場合は、早めに修復しましょ。う。

エ 飼料用イネや飼料用トウモロコシが倒伏等の被害を受け、回復が期待できない場合には、早急に収穫調製作業を行いましょ。う。

調製にあたっては、水分調整の実施や、土砂等が混入しないよう作業速度をおとして収穫作業を行うとともに、乳酸菌製剤等の発酵促進剤を添加して、サイレージの品質向上に努めてください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL024(521)7339

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

○ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>